（6）第42回全国高等学校柔道選手権大会大阪府予選会 兼第61回近畿高等学校柔道新人大会大阪府予選会 兼第69回大阪高等学校新人柔道大会要項
【男子の部】
1．大会日時
（1）団体試合
（2）個人試合
（3）計量日時
（4）受付時間
（5）審判•監督会議
令和元（2019）年 11 月 16 日（土）午前 10 時 00 分
令和元（2019）年 11 月 17 日（日）午前 10 時 00 分
【選 手】 令和元（2019）年 11 月 17 日（日）午前 9 時 10 分～ 9 時 45 分
【顧 問】 午前 9 時 10 分 $\sim 9$ 時 45 分（各試合当日）
（5）番判•監督会議 午前 9 時 50 分～（各試合当日）


6．参加資格〔必ず，大会申込締切日までに2019年度の全柔連登録を済ませておくこと。〕
（1）年齢について〔全昌制第 3 学年生徒は不可〕
参加選手は，個人•団体試合とも平成13年（2001年）4 月 2 日以降に生まれた者で，平成 31 年（2 019年）4 月以前に，当該学校の在籍者であること。同一学年での出場は 1 回限りとする。但し，特例として，この項に定める年齢制限は，中国残留日本人孤児及びその子女については適用しない。
（2）転入生について
転入生は，大会申込締切日までに転入後 6 ヶ月を経過し，全柔連登録をしていなければ出場でき ない（外国人留学生もこれに準じ，かつ，団体試合の出場枠は 1 名とする）。但し，一家転住やその他特別の理由に伴う転校がある時は，部長が承認すれば出場できる。
（3）参加選手は，本大会に参加することを学校長より承認されたものであること。
（4）統廃合の対象となる学校については，当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
7．参加制限
（1）個人試合（7階級）
イ・体重別試合とする。 100 kg 超級•100kg級•90kg級• 81 kg 級• 73 kg 級• 66 kg 級• 60 kg 級
ロ，参加人数については，有段者は全階級フリー参加とする。但し，段外者は各階級 1 校 2 名まで

とする。（高体連強化選手は，特別枠用の入カシート・用紙で申し込むこと。）
八。選手は個人試合，団体試合を兼ねることができる。
（2）団体試合
イ． 1 校につき 1 チームを， I 部または $I$ 部に出場させることができる。
口．I 部（監督 1 名，選手 5 名，補欠 1 名，計 7 名）但し， 3 名以上の登録選手がいれば出場を認める。
八。II部（監督1名，選手3名，補欠1名，計5名）但し，2名以上の登録選手がいれば出場を認める。
ニ．I 部については，他校との合併による合同チームでの参加は認めない（但し，統発合校は烈外と する）。 I部については，選手が 1 名だけの各学校（ $2 \sim 3$ 校）でのみ合同チームの参加を認 める。（19ページ参照）
ホ．全日制と定時制•通信制を混ぜないこと。
8．試合方法
（1）審判規定は，個人•団体試合とも国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
（2）個人試合
イ．トーナメント法による。
ロ．試合時間は 3 分間とし，勝敗が決しない場合はゴールデンスコアを導入する。
（3）団体試合
イ．I 部はトーナメント勝抜法により行い，勝ち残った上位 4 チームはリーグ戦とする。II部はト ーナメント点取法で行ら。
ロ．試合時間は 3 分間とする。
八。上位 16 校の試合及び近畿大会出場決定戦より三審制とする。
二．先鋒より互いの選手を全て出場させ，自チームに選手が残った場合勝ちとする。
ホ，試合は，I 部は各チーム 5 名で行い，試合毎に選手の配列（オーダー）を変えることができる。 II部は各チーム 3 名で行う。
へ。大将同士が引き分けの場合，代表戦を 1 回行う。
代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。
（但し，勝敗が決しない場合は，ゴールデンスコアを導入する。）※「僅差」は指導差 2 とする。
ト，選手の配列は段位に関係なく自由とする。
チ．リーグ戦の順位の決定は次による。
（1）大将戦が引き分けた場合は，その試合は引き分けとする。
（2）4チームの勝率が同率および上位3チームが同率の場合は，各校代表者 1 名によるリーグ戦を行い，順位を決定する。
（3） 2 校の勝率が同率であと 1 校を決定する場合は，各校 1 名の代表戦を 1 回行い，決定する。
（4）代表戦で内容が同じ場合は，ゴールデンスコアを導入する。
9．諸大会の出場
（1）団体試合（I 部）
（2）個人試合
近畿大会の出場 上位 10 校 $\quad$ 全国選手権大会の出場 上位 2 校
近畿大会の出場 各階級上位 4 名
全国選手権の出場 60 kg 級• 66 kg 級• 73 kg 級• 81 kg 級の優勝者
全国選手権無差別級予選会の出場

10．参加上の注意
（1）選手変更
個人試合については，試合申し込み後，選手の変更は認めない。団体試合については，試合申し込 み後，選手が何らかの理由により出場できない場合，1 名に限り選手の変更を認める。但し，II部 については，正選手が出場できない場合は，あらかじめ登録していた補欠選手から出場させるもの とする。（H P よりプリントアウトし作成した「登録選手変更届」を，大会当日受付時に，本部に提出すること。）
（2）書類について（キリトリ線の箇所で必ず切り取ること。）
イ・电込書類不備の場合は，一切受付をしないため，大会参加不可となるので十分注意すること。
ロ．墨書メンバー表は抽選会当日必ず提出すること。尚，ペン書き・マジック書き・感熱紙等は不可。 （必ず，I 部は厚紙を，II部は模造紙を使用すること。）
（3）付き添いについて

試合は全ての出場校について，引率責任者（顧闆）の付き添いを必要とする。大会受付は，個人•団体 I 部については，引率責任者（顧問）が申し出ること。団体 I 部については，合併チームの全 ての引率責任者（顧問）が申し出ること。試合時に不在の場合は不戦負とする。引率責任者（顧問） は当諳校の職員であること。
（4）その他
イ．抽選会，開会式に遅刻したチーム，選手は，上記各項の条件に適格であっても大会出場を認め ない場合がある。
ロ．合併チームの抽選会参加については，代表1名で可とする。
八，靴袋を用意すること。

## 〈 I 部〉

ふ墨書メンバー表〔厚紙を使用〕そ
（ペン書き・マジック書き・模造紙•感熱紙等は不可）
※サイズを間違えないこと。
（名前の裏面には，「OO高」と鉛筆で学校名を右上部に記入）


## 〈II部〉

ふ墨書メンバー表〔模造造紙を使用〕ふ
（ペン書き・マジック書き・厚紙•感熱紙等は不可）
ふ墨書メンバー表の大きさ（縦 27.5 cm •横 79 cm ）ふ
79 cm （ペン・マジック書き，感熱紙は不可）

27.5 cm |  | 先 | 中 | 大 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| $\bigcirc$ |  |  |  |
| $\bigcirc$ | $\bigcirc$ | $\bigcirc$ | $\bigcirc$ |
| 高 | $\bigcirc$ | $\bigcirc$ | $\bigcirc$ |

※ 選手名は申込書の配列どおりであること。
（模造紙1／4片の大きさ）

1．大会日時
（1）団体試合
（2）個人試合
（3）計量日時

令和元（2019）年 11 月 9 日（土）午前 10 時 00 分令和元（2019）年 11 月 10 日（日）午前 10 時 00 分
【選 手】 2019年11月9日（土）午前 9 時 10 分～ 9 時 45 分 ※ 団体：個人試合とも，計量を実施する。
（4）受付時間【顧 問】午前 9 時 10 分 $\sim 9$ 時 45 分（各試合当日）
（5）審判•監督会議 午前 9 時 50 分 $\sim$（各試合当日）


6．参加資格〔必ず，大会申込締切日までに2019年度の全柔連登録を済ませておくこと。〕
（1）年齢について〔全日制第 3 学年生徒は不可〕
参加選手は，個人•団体試合とも平成 13 年（2001年）4 月 2 日以降に生まれた者で，平成 31 年（2 019年）4 月以前当該学校の在籍者であること。同一学年での出場は1回限りとする。但し，特例と して，この項に定める年齢制限は，中国残留日本人孤児及びその子女については適用しない。
（2）転入生について
転入生は，大会申込締切日までに転入後 6 ヶ月を経過し，全柔連登録をしていなければ出場でき ない（外国人留学生もこれに準じ，かつ，団体試合の出場枠は 1 名とする）。但し，一家転住やその他特別の理由に伴う転校がある時は，部長が承認すれば出場できる。
（3）参加選手は本大会に参加することを学校長より承認されたものであること。
（4）統廃合の対象となる学校については，当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
7．参加制限
（1）個人試合
イ。体重別試合（7階級）
78 kg 超級• 78 kg 級• 70 kg 級• 63 kg 級• 57 kg 級• 52 kg 級• 48 kg 級
ロ．人数の参加制限はなし。
八。選手は個人試合，団体試合を兼ねることが出来る。但し，同じ階級とする。
（2）団体試合
イ。参加人数は 1 校 1 チームで監督 1 名，選手 3 名，補欠 2 名，の 6 名とする。

ロ． 2 名以上の登録選手がいれば，出場を認める。
八。全日制と定時制を混えないこと。
ニ．他校との合併チームによる混合チームの参加は認めない（但し，統廃合校についてはこれを例外 とする）。
ホ，選手の配列（オーダー）については，体重区分の上限を，先鋒は 52 kg ，中堅は 63 kg ，大将は無差別とする。但し，体重区分の下限を設けない。
へ。体重区分については，補欠起用の際も同様とする。
8．試合方法
（1）審判規定は，個人•団体試合とも国際柔道連盟試合審判規定で行う。
（2）個人試合
イ．トーナメント法またはリーグ戦による。
ロ，試合時間は3分間とし，勝敗が決しない場合はゴールデンスコアを導入する。
（3）団体試合
イ．トーナメント点取法による。
ロ，試合時間は3分間とする。
ハ．勝敗が同数の場合は内容によってチームの勝敗を判定する。
ニ．チームの勝敗が決しない場合は，代表戦（ゴールデンスコア）を引分けの試合より抽選にて行う。引き分けの試合がない場合は全国選手権大会に準ずる。（判定基準は，「技有」または「指導差 1 」以上）
9．諸大会の出場
（1）団体試合 近畿大会の出場 上位 10 校 全国選手権大会の出場 優勝校
（2）個人試合 近畿大会の出場 各階級上位 4 名
全国選手権の出場 48 kg 級• 52 kg 級• 57 kg 級• 63 kg 級の優勝者
10．参加上の注意
（1）選手変更について
個人試合については，試合申込後，選手の変更を認めない。団体試合申込後，選手が何らかの理由 により出場できない場合，1名に限り選手の変更を認める。（HPよりプリントアウトし作成した「登録選手変更届」を，大会当日受付時に本部に提出すること。）
（2）書類について（キリトリ線の箇所で必ず切り取ること。）
イ・电込書類不備の場合は，一切受付をしないため，大会参加不可となるので十分注意すること。
ロ・墨書メンバー表（模造紙）は抽選会当日必ず提出すること。尚，ペン書き・マジック書き・感熱紙は不可。サイズは下記に示すとおり。
（3）付き添いについて
引率責任者（顧問）のいない学校は大侌参妿を認めない。大侌受付は引率責任者（顧䦭）が申し出 ること。試合時不在の場合は不戦急とする。引率責任者（顧問）は当該校の職員であること。
（4）その他
イ。抽選会，開会式に遅刻したチーム，選手は上記各項の条件に適格であっても大会出場を認めない場合がある。
ロ．団体試合は，府柔連昇段試合の公認点〔16シ゚ー～17シ゚ー参照〕となるので，必ず，府柔連成績カード を（既に持っている者は）持参すること。
八。靴袋を用意すること。


